

## 神戸市水道労働組合上水支部との交渉議事録

1. 日 時：令和7年9月17日(水) 15:30～17:05

2. 場 所：水道局浄水統括事務所 大会議室(2階)

3. 出席者：

(局) 浄水統括事務所長、浄水統括事務所部長(設備課長事務取扱)、  
上ヶ原浄水事務所長、千苺浄水事務所長、水質試験所長、  
浄水統括事務所施設課長 他1名

(組合) 本部書記長、支部長、副支部長、書記長 他6名

4. 議 題：2026年度上水支部産別要求の回答について

5. 発言内容：

### (統一要求関係)

○当局から回答

1. 労働条件等に関する要求

年間総労働時間に関する事項等、局全体に関する事項は別途、団体交渉等で示すことになるので、上水支部の状況として回答できる範囲のみ回答させていただく。

(1)

① 超過勤務縮減 ②36協定の上限(年間360hr 月45hr)遵守 ③休暇取得の促進

これらの実現のためには、職場での協力体制を作ること、業務そのものを減らすこと、効率化を図ることが重要。実施方法の検討・工夫の際には協力をお願いしたい。ちなみに休暇取得状況は、上ヶ原浄水事務所・千苺浄水事務所・浄水統括事務所ともに平均19日程度となっている。

④ 労働時間短縮のための人員確保については厳しい状況。そのためDXなどでやり方を変え、業務を減らし、時間的な余裕を作りだせるようにしたい。

(2) 精神的・肉体的負担が増加している職員への負担軽減措置に関して、各自の体調などについては個別に面談するなど、きめ細かく対応していきたい。また産業医やメンタルヘルスの相談窓口を案内するなど精神的な不安解消に努めたい。

2. 水道事業に関する基本的要求

(1) 局全体の事項のため省く。

(2) 業務委託や人員配置については管理運営事項になるが、委託に伴い業務のやり方や体制が変わる点や水道技術の継承に関しては、実務を携わっている方の意見が重要と考えている。関係する職員に丁寧に説明をさせていただく。

(3)

① 将来にわたり安定した水道事業を継続するためには、必要となる人材を確保していかなければならない。職場の中で技術継承ができるような育成・配置を検討していく。

② 上水支部関連でこれまで委託化した業務では、再直営化しなければならない業務はないと考えている。委託業務を実施しながら個別の問題が生じた場合は、改善を検討していきたい。

③ 配水池などの耐震化についてはすでに診断を終えており、この診断結果に基づき、順

次耐震化事業や土砂災害対策事業を実施中である。今後、基幹施設である奥平野低層、4 拓トンネルなど大規模な更新事業が発注されるため、事業実施に必要な人員については所属としても検討・要求していきたい。

- ④ 人事異動については管理運営事項である。意向調査などのヒアリングにより本人の意向はしっかりと聞き留めたい。所属としての配置や人材育成の観点も踏まえて異動の要望を伝えたい。
- ⑤ デジタル化などの新技術の導入に関して、現時点で浄水関係では具体的な導入計画はないが、試験的な導入はできる限り実施していきたいと考えている。その上で導入する際にはしっかりと実務者の意見を確認する。

### 3. その他職場要求

- (1) 普段からの職場コミュニケーションを通じて状況把握を行い、職制として必要な配置を実施していきたい。
- (2) 職制として人材育成・配置計画を検討していく。要望内容は所属として受け止め、今後の組織運営を進めていきたい。
- (3) 上水支部関係の業務で、緊急経営改革により見直しを行った業務に限らず、継続して業務の効率化を考えなければならないと考えている。その中でさらに見直しが必要な業務については、できるところからひとつずつ対応していきたい。
- (4) 被服に関しては、安全衛生の観点から所管（経営企画課）へ伝える。

### ○質疑応答

- (組合) まず人員確保について。高齢化・少子化に伴って人員確保が難しいのは承知している。しかし、民間等に技術が高い人・良質な人材が流れているのは明らかである。そのため、魅力的な職場、条件の良い職場になるようにするのは職制の仕事だと思っている。職員の士気を上げて魅力的な職場になるよう努めていただきたい。
- (局) 仕事だけでなく職場も魅力的かどうかということが大きく関わってくると思うので、そうなるように努めたい。
- (組合) 毎年話になるが委託業務について。委託化されたことにより、その業務に携わっていた職員は削減された。しかし、削減されたにも関わらず、それに対応している職員がいるのが現状だ。本来であれば委託化されたので、それに携わる職員はいないはず。しかし、何かあった時に一時対応やトラブル解消のために動いてくれている職員がいるのは事実だ。効率化も含めて、携わる人員をきちんと考えて配置してもらいたい。
- (局) これまで委託による人員削減という流れが続いてきたが、委託したからといって100%業務がなくなる訳ではない。その点をきちんと考えておかなければいけないと思う。これから色々と試していく必要がある。それがうまくいったからといって「削減」ということではなく、今の人員体制で色々試しながら業務改善を進めるということも必要だと思っている。その点は本庁にも伝えていきたい。
- (組合) 人材の確保ということで肉付けして発言させてもらう。今の採用方法の他にも採用を広げることはできないか。現在、試験を受けてくれる人はいるが、不採用になることもある。今までは水道技術職は工業科しか受けられなかったが、最近は普通科でも

受けられるようになり、間口を広げることはしてもらっている。しかし、間口が広がっても知識がないということで落とされてしまうことがある。普通科で採用され水道局で育ててもらったという者もいる。知識的には工業科で勉強した人には追いついてはいないが、普通科の人でも入ってから技術を学んでいけると思うので、採用の枠や方法を広げていってもらいたい。

次に被服について。防寒ベストとポロシャツについては局主催の被服検討委員会でも発言させていただくが、職制側からも後押ししてもらいたい。

(局) 門戸は広げているが、試験を無しにすることはできない。被服の件はすでに本庁に伝えているが、更に伝えていきたい。

### (人員関係)

○要求項目について当局から回答

※回答は別紙のとおり

○質疑応答

(組合) 増員要求について。管理運営事項とはいえ、声が上がっているのは事実なので、もし増員ができないのであれば、仕事内容を効率化するなどを検討していただきたい。

### (車両関係)

○要求項目について当局から回答

(局) 経営企画課において予算化を進めている。しかしバネットについては、そもそも車両が入ってこないとなという実態がある。時間がかかるのでご理解いただきたい。

浄水統括事務所のユニックについては購入の方向で検討していると聞いている。

(局) 上ヶ原浄水事務所のユニック付トラック 87-12 について。更新内容については同機種を求めていきたいと考えている。87-12 と 1BOX 車 78-65 は、どちらを優先して更新するかについて職場の意見を聞いていきたい。87-12 については 2006 年に登録したものだが 5 万 4000 km 走っている。一方、78-65 は 2007 年に登録したものだが 8 万 9900km 走っている。どちらを優先して更新するかについてはユニックの使用頻度等も考慮して検討していきたい。

※回答は別紙のとおり

○質疑応答

(組合) 以前、トラックではなくダンプ型だと聞いていたので、そこから変更があったのか確認しないといけない。何年か前に予算まで付いていたが、納品までに時間がかかるということで発注に至らなかったと聞いている、その後どうなったか知らない。その時はユニック付トラックではなくダンプだと聞いていた。上ヶ原浄水事務所にはダンプ自体がない。千苅導水路の第二水管橋の所まで行く途中に舗装されていない道路がある。台風や大雨が降った時に、碎石を持って行って碎石を敷いて車両が通れるように整備する時にダンプが必要だと聞いている。現在、必要な時は浄水統括事務所で借りていると聞いている。

(組合) 500Kg 未満のユニックで対応できるのか？それ以上重い物を吊り下げたりしない

のか？

(局) 500Kg 未満の重量物を取り扱う作業を確認しているが、それ以上の重量物を取り扱う作業の有無に関しては現時点で把握していない。

(組合) 浄水統括事務所のダンプを上ヶ原浄水事務所や千苺浄水事務所に貸して作業してもらうということは多々あるし、それに関しては良いことだと思う。しかし、貸している間に必要になることもある。その仕事を少し遅らせたり、緊急性がある場合には、別車両に積み込んで対応することも少なくないので、今後も車両に関しては、こうした点も考えていかなければいけないと思う。

浄水統括事務所に関しては、バネットは時間がかかるということだが、改造変更については大丈夫か？

(局) 改造変更については「基本は認められない」と言われているが、まだ契約もしていないので、これからの交渉になる。

### (固定資産・備品関係)

○要求項目について当局から回答

(局) 3階扉の設置について。建築基準法上の問題から扉を付けるのは難しい。ただ、虫除けという点については、扉にはめる暖簾のような網戸があるので、一度試してみてもいいのではないかと考えている。これについては所属で検討したい。

ナンバーディスプレイの導入について。すべての電話に設置するのか、代表電話と管理室の電話に設置するのかについては整理したい。設置する方向で検討したい。

カスタマーハラスメント対応機能の追加について。他部局の事例も調べており、建設事務所でも導入している。調べた限りでは1事務所あたり5年間で約170万円とのこと。

※回答は別紙のとおり

○質疑応答

(組合) USBメモリの通年貸与について。紛失時のリスク軽減ということは重々承知しているので、仕事の内容を精査し、本当に必要であれば、例えば数か月の貸与等も検討してもらいたい。

管理室用ハードディスク設置について。難しいのは承知しているが、この声が上がったのは、一時、全庁ファイルサーバにログインできない、フォルダが見つからない、という不具合が生じたことから。サーバが見られないことがないような対策を優先的に講じてもらいたい。

虫よけ対策、ナンバーディスプレイ導入については継続要求である。昨年から進捗状況が変わっていないと思うので、一步でも進めていただきたい。

カスタマーハラスメント対応機能の追加について。職員の安全衛生上の観点や効果・費用の観点ということは理解できるが、職員の安全衛生上の観点、精神面の負担軽減という点からも優先順位を高く考えていただきたい。

(組合) ナンバーディスプレイについて、昨年も言ったが、個人情報になるので導入できるのか？

(局) 表示された番号を先方への断りなしにかけ直すということとはできないと思う。そのため、電話がかかってきた段階で先方に確認する必要がある。本庁はすでに導入している。

(組合) 以前「個人情報の観点から導入できない」という回答をもらっていたが、本庁で導入しているのなら各事業所でも大丈夫なのか？

(組合) 本庁はいつから導入しているのか？

(局) 確認していないが、本庁が東部水道管理事務所と統合してからだと思う。

(組合) 東部水道管理事務所は導入していないのか？

(局) 恐らく電話機は統合前から変わっていないと思う。

(組合) 千苺浄水事務所の執務室に空気清浄機を設置することについて「検討したい」との回答だが、他の部屋も検討対象ということか。オペレーター室のみか。

(局) 今回は特にオペレーター室ということになっているが、これについては職員の方々から意見を聞いた上で進めたい。部屋の大きさもあるので、1～2台入れた程度で改善されるかどうか、家庭用であれば難しいとは思う。

(組合) 携帯電話の増台について。維持班、電気・機械の職員に確認してもらいたい。i Pad は大きいので「持って仕事ができない」との意見が出ている。そうした意見も聞いて検討してもらいたい。

(組合) その件について補足させていただく。i Pad の Teams だが、夜間では、例えば水を見るとき固定して他の画面も見られるので、それは良い点だと思う。一方デメリットとしては、昼間の水栓作業は漏水管の距離が長いので無線が届かない。Teams を使ったことが何度かあるが、首から i Pad をぶら下げた状態でバルブを触ったり鉄蓋を開けたりしないといけない。最近多いのは、暑さで i Pad がダウンするので、リスク軽減のため途中に中継要員を設けなければいけない。携帯電話で対応しないとイケないこともあるので、双方のメリット・デメリットを踏まえて検討する必要がある。

(組合) 現場職員の意見をよく聞いて検討してもらいたい。

### **(営繕・改良工事関係)**

○要求項目について当局から回答

(局) 3階トイレ水栓レバーの件について。3階だけでなく2階分も含めて事務所全体として検討していきたい。

※回答は別紙のとおり

○質疑応答

(組合) 防草対策について。防草対策工事をしたからといってそれで終わりではないということを訴えたい。苦情が来てから対応することもあるが、苦情が来る前に職員が事前に苦情が来そうな箇所の対応をすることも多々ある。ずっと訴えてきたが、やっと認識していただいたと思うので、より強く要望していきたい。

フロントホストについて。本来やるべき水運用対応に支障をきたすことがないよう、しっかり対応してもらいたい。

3階トイレ照明のLED化について。事務所全体で検討いただけるとのことだが、蛍光灯の部分もまだ残っているので、今後も前向きに検討していただきたい。

仮眠室疾病感染予防措置について。仮眠室にベッドを設置する方向であるとのことだが、間仕切りの設置も訴えていたので、それも合わせて検討してもらっているのか？

(局) これからになるが、その方向で検討していきたい。

(組合) 防草対策について。「仕様書や予算確保に関して本庁へ訴えていく」との回答だった。仕様書の中では、市民苦情に対しては業者がやることになっているが、現在、業者は「局でやってくれ」と言っている。当然本庁も「急な対応はやってもらいたい」と言ってくるので、その辺りのことは所属の職制としてもきちんと伝えてもらいたい。現在、日々の仕事もそうだが濁水対策等イレギュラーな業務が発生して手が足りていない。「苦情が来たから対応してくれ」と言われても、苦情対応に手を回す人員がいない。本庁へは強めに言ってもらいたい。また業者委託している業務なので、業者にはしっかりやるよう指導してもらいたい。

(組合) 千苺浄水事務所管内のトイレの設置は厳しいのか？

(局) 毎年度の営繕要求において、それよりも優先すべき件があり優先順位が低くなっている。ここには上がっていないが、波豆監視所はトイレ改修が近々できそう。要求を継続してあげていきたい。

(組合) ボイラー室付近が臭いという件について。ボイラー室に段差があつて奥側に水が溜まるので、その水が腐るのではないかとされている。モルタル等で何とかすれば解消できるのではないか。

(局) 昨日、設備担当と現地確認を行った。2階の風呂場・トイレの配管が1階入口の浄化槽に行く途中でボイラー室の排水口の配管と繋がっているため、トイレ等の臭いが上がってきている可能性がある。一旦、それを塞ぐことを検討する。

(組合) 塞いだらまた水が溜まるのではないか？

(局) 現在、ボイラーは無いので大丈夫ではないかと思う。その辺は設備担当と検討する。

(組合) オペレーター室の網戸について。先ほどの空気清浄機と一緒に考えてもらいたい。扉の設置はまた別に考えていただきたい。

(組合) 地下水質脱泡槽の配管について。継ぎはぎだらけで入り組みすぎて、昔使っていた設備が残ったままだ。ドレンも詰まっている。もう少し改修をしていただきたい。

(組合) その件もオペレーターや設備・機械担当と検討していただきたい。

### (その他)

○要求項目について当局から回答

※回答は別紙のとおり

○質疑応答

(組合) 2課を1課にという要求について。「不具合の解消や業務の効率化ができるよう検討したい」との回答だったが、1課に戻すのではなく、こうしたことを検討したいということか？

(局) そういうことだ。2課にしたのは「お互い仕事をしやすいように」という思いで進

めている。引き続き進めていきたい。

(組合) このような問題が起きていることを認識して検討していただきたい。

水位計の設置について。主要な池なので本来は全池が見えていないとおかしいと認識しているので、よろしく願いたい。

ポンプ場等の更新について。今回挙げている箇所だけの問題ではない。水運用の中で、ここだけ見ていたら良いということではない。負担軽減できるところはしていかないと、本来やるべき水運用、夜間作業や池洗浄等にも影響が及ぶ。どちらかに注意がいつてはいけない。全体を把握して水運用をしていかなければならないので、何か策があれば前向きに検討してもらいたい

オペレーター職員への空調服の貸与について。「所属長が必要性を認めた場合、貸与することができる」とのことだが、「所属長が必要性を認めた場合」とはどういう場合を言っているのか？

(局) 基本的には、「暑い中で長時間に渡って巡回する場合」になる。ただ、1時間程度の巡回だけであれば、毎日行う訳でもないので、申し訳ないがそこまでは必要ないのではないかと思う。ただ、「その他にも色々な業務があるので必要」ということであれば、話を聞いた上で必要と判断すれば貸与も考えたい。

(組合) オペレーターの通常勤務(○普)の場合、施設保全ラインと一緒に仕事に行くということはある。そうすると、希望者には貸与するということか？

(局) そういうことである。

(組合) 夏作業ズボンについて。すでに経営企画課に伝えてくれているようで有難い。実際、引っかかって躓いたり、こけたりしている職員がいる。我々も労働安全衛生委員会や被服検討委員会でも訴えていきたいと思っている。

(組合) 千苺浄水事務所の地下通路の滑り止めについて。以前は滑り止めテープを貼っていたが、それが剥がれてしまって滑る。滑り止めの塗料等で対応していただきたい。

(局) 労働安全衛生委員会で現地確認を行った。滑り止めか、手すりを付けた方がいい箇所もあるので、そうしたところも含めて検討する。

(組合) 浄水統括事務所の「2課を1課に」について。通常、本庁や他職場は課にそれぞれ庶務担当を置いているが、浄水統括事務所は兼務となっている。別に兼務でもいいが、兼務にするならそれなりに人員を増やさないといけないと思う。または元々の考え方のとおり、課ごとに庶務担当を置く方が効率がいいと思う。今さら2課だったものを1課に戻すのも非効率なので、そうしたところを職制側はきちんと考えていただかないといけない。職制側の思惑が色々あるとは思いますが、それに伴って職員が割り食っていることについては、しっかり対応してもらいたい。

(局) 非効率にするためにやったわけではない。お互い仕事がしやすいように、ということで職種の中で融通が利きやすいようにしたいという思いがあるので、こうした形にした。課が分かれても事務所は一つなので、お互いに協力をしていただきたい。

(組合) 全般的に、仕事で必要なことが産別要求に出てきてしまっている。元々、仕事で必要なことは仕事上で対応してもらうべき。その上で、効率性や労働安全衛生上の観点から必要なことを産別要求で出してもらうのが理想である。しかし、その意に反して、仕事の中で必要なことが産別要求で出てきているのは、それぐらい職員が切実に要求をしているということ。今回、本当に前向きに回答してもらっていると思うが、そ

れを踏まえてしっかり対応していただきたい。

（局） 以上、回答交渉を終了する。